

1797  
2010・1/10

# 大阪教育

昭和29年2月16日第三種郵便物認可/毎月10日発行/1部30円(組合員は組合費を含む)/発行・大阪教職員組合・〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11・大阪府教育会館7F/TEL 6768-2330/FAX 6768-2239/daikyoso@daikyoso.jp 編集発行人・加藤秀雄/印刷・関西共同印刷所

# 迎春

## 平和への「意志」を育む

### 私の教育実践

教育のつどい大阪2009の「平和・国際連帯の教育」分科会で、大阪市立西淀中の平和教育が共感を広げました。同校の美術教員・数内敬三さんが実践してきた、平和学習、平和ポスター制作、「反戦・平和レポート」、文化祭の共同制作のとりくみを紹介します。



### いのちを大切に 豊かな心を

大阪市立西淀中 数内 敬三さん

### 戦争がおきない 世の中になりたい



ポスター制作は昨年度から全学年のとりくみとなり、制作に先立って美術科では、レタリングの授業もおこなわれました。「反戦・平和レポート」は、広島が被爆した8月6日、長崎が被爆した9日、終戦記念日の15日の新聞の切り抜きを用紙に、感想を書くというこ

りくみです。今年には校内の人権教育委員会でも全学年の課題としてとりくみました。

にこめた思いを話します。「私たちがとりくむ平和教育を通して、生徒たちの心のなかに『平和への意志』が蓄積され、瞬時の迷いもなく『平和』を選択する人が育っていくことを願いながら、これからも美術教育と平和教育にとりくんでいきたい。」



被爆者の高木静子さんを迎える講義

### 文化祭は 平和学習の発表の場

瑞光中に勤務をしてい

たとき、文化祭でピカンの「ゲルニカ」を千羽鶴で表現する共同制作にとりくんだことがありました。そのとりくみを知る現任校の同僚から依頼をうけ、共同制作の原案とマニュアルを提案し、昨年度の文化祭では1年生が原寸大の「ゲルニカ」を貼り絵で表現し展示しました。

瑞光中(前々任校)、井高野中(前任校)から、「平和」をテーマにしたポスターの制作、「反戦・平和レポート」のとりくみと平行して、原爆被害者の高木静子さん(元大阪市原爆被害者の会事務局長)から「被爆体験を聞く」のとりくみが続けてきました。

瑞光中に勤務をしてい

たとき、文化祭でピカンの「ゲルニカ」を千羽鶴で表現する共同制作にとりくんだことがありました。そのとりくみを知る現任校の同僚から依頼をうけ、共同制作の原案とマニュアルを提案し、昨年度の文化祭では1年生が原寸大の「ゲルニカ」を貼り絵で表現し展示しました。

瑞光中(前々任校)、井高野中(前任校)から、「平和」をテーマにしたポスターの制作、「反戦・平和レポート」のとりくみと平行して、原爆被害者の高木静子さん(元大阪市原爆被害者の会事務局長)から「被爆体験を聞く」のとりくみが続けてきました。

瑞光中に勤務をしてい

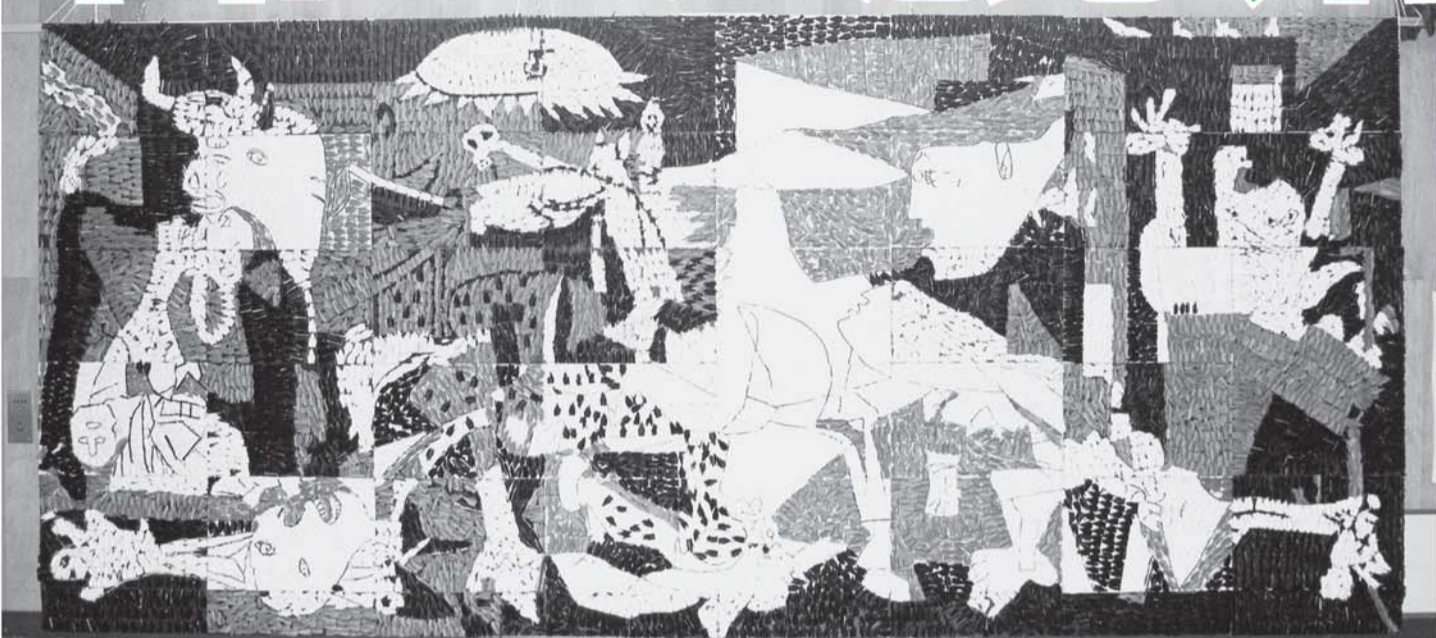
たとき、文化祭でピカンの「ゲルニカ」を千羽鶴で表現する共同制作にとりくんだことがありました。そのとりくみを知る現任校の同僚から依頼をうけ、共同制作の原案とマニュアルを提案し、昨年度の文化祭では1年生が原寸大の「ゲルニカ」を貼り絵で表現し展示しました。

瑞光中(前々任校)、井高野中(前任校)から、「平和」をテーマにしたポスターの制作、「反戦・平和レポート」のとりくみと平行して、原爆被害者の高木静子さん(元大阪市原爆被害者の会事務局長)から「被爆体験を聞く」のとりくみが続けてきました。

瑞光中に勤務をしてい

たとき、文化祭でピカンの「ゲルニカ」を千羽鶴で表現する共同制作にとりくんだことがありました。そのとりくみを知る現任校の同僚から依頼をうけ、共同制作の原案とマニュアルを提案し、昨年度の文化祭では1年生が原寸大の「ゲルニカ」を貼り絵で表現し展示しました。

千羽鶴で表現した原寸大(349×776cm)の共同制作「ゲルニカ」



学費無償化 30人学級実現を

届け！ 1023万筆の願い

教育費の父母負担軽減・30人学級実現へ。「ゆきとどいた教育を求める全国署名」(教育全国署名)の集約集会が12月11日、東京都内で行われ、全国から1023万筆を超える署名が集約されました。

来年度政府予算案が、いよいよ今月から通常国会で論議されます。高校授業料の無償化、私立高校就学支援などを実現させるために、「教育全国署名」と「5大重点要求」はがきへの協力を、あとひとまわり周りの人に呼びかけましょう。

壇上でのとりくみを報告する大阪の代表団

### 湧水

新しい年、2010年が始まった。日米安保条約の締結から50年

目にあたる。100年前には「日韓併合」が、そして「桜田門外の変」は150年前の幕末のこと。武士や植民地は存在せず、残るは「安保」だけ。歴史は、行きつ戻りつ進んでいるのは確か。▼さて今年、どうしても歴史に刻みたいことは、核兵器廃絶実現への道筋だ。昨年聞いた被爆された方の話は、その思いをいっそう強くさせた。原爆の惨禍の中、辛うじて命をつないできた体への不安と恐怖。生活の周りで起る偏見に満ちた出来事の数々に胸が詰まった。▼また「6の日」宣伝など、地域の各団体と協力し、『核兵器のない世界』の署名の取り組みにも参加した。「この子の分も」と、赤ん坊の名前も書いてくれた女性。広島・長崎の写真を見て、「これ、知って集めた署名は、1万筆を超えた。▼4ヶ月後、2010年核不拡散条約再検討会議がニューヨークで開かれる。各国政府は、核兵器禁止・廃絶条約の交渉に踏み出すべきだ。再び被爆者を出さないために、『ノーモア・ヒロシマ・ナガサキ』の声をもっと届けたい。(K・K)